

1.仕事の魅力創造・発信

「基本目標」

木祖村にあった魅力ある仕事の創造と魅力の発信
村内にはお六櫛・画材等をはじめとした木製品加工や畜産、農林業等これまで培ってきた産業があります。また、スキー場、こだまの森、水木沢天然林、奥木曽湖、鳥居峠、藪原宿など、観光資源もあります。これらの資源を活かし、これまで培ってきた産業や仕事の魅力を再発見するとともに、若い世代や村外の方が魅力を感じるものへと変革していきます。また、地域資源を活かした新たな産業を興し、村外へ向けて、その魅力を発信していきます。

「重点戦略」

(1) 魅力ある仕事を創造する人づくり、人材の確保 (効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。)魅力を発信する特産品の開発、育成 (3) 魅力再発掘による観光の活性化 (4) 地域資源を活用した魅力発信 (5) 地場産業の育成と新しい事業の創造
--

【重点戦略業績評価指標 (KPI)】

主な施策	事業内容	基準値 R01	目標数値 R06	R3年度(まで)の具体的な取り組み内容	実績値	自己評価	検証結果	担当課
(1) 魅力ある仕事を創造する人づくり、人材の確保								
仕事、会社、地域を結ぶ役割の職業相談窓口の設置	窓口を設置し、専門員を配置する	0人	専門員 1人	取組みなし	0	D	人材の確保が可能か。 施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要である。	産業振興課
	就業体験の案内、受け入れ支援	0件	相談件数 50件	受入なし	0	D	ハローワークと連携が必要。 施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要である。	産業振興課
木祖村独自の地場産業活性化支援	地場産業の販売先拡大支援	2団体	支援先 5社	コロナ禍で積極的な営業活動ができず新規に販路拡大には繋がっていない	0	C	ネットを使った製作PR等が重要。 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
	アンテナショップを活用した販路拡大	R1目標対比 99%	売上伸び率 200%	コロナ禍ではあったが酒類販売や新鮮な高原野菜などの販売が好調で、注文販売など積極的な販売PRを行なったことで売上額は過去最高額を更新した。	15,470千円 対前年比 109.4%	B	ブランド力の強化が必要。 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課

暮らしを支える仕事づくり(特産品のブランド化)	特産品地域ブランドの再点検や新たな地域ブランド化を図り、消費拡大につなげます。			新規のブランド認証商品は生まれなかった	—	D	木曽牛のアンテナショップでの販売促進方法の検討を。 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 具体的な実施計画はどうなっているのかの部分から検証が必要ではないか。	産業振興課
	木祖村名古屋総合拠点施設(木祖村アンテナショップ)や関東方面にある公的施設等を有効に活用し、特産品の知名度向上と消費拡大を進めます。			アンテナショップを中心に特産品の注文販売を行うなど知名度向上、消費拡大を図った。関東方面に対する啓発は不足している。	—	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 愛知県や長野県内でのPR活動と販売(トウモロコシ、白菜)は順調に伸びている。	産業振興課
暮らしを支える仕事づくり(商工業)	村内店舗等に特化した住民サービスを創設し、村の中での消費拡大を目指します。			毎年、プレミアム商品券事業を実施し、村内での消費拡大を実施。	—	B	曜日、時間指定での買い物弱者送迎の検討を。 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 販売方法(村民と村外客)を差別化し引き続き実施	産業振興課
	制度資金を継続し、企業の体質改善の推進を図ります。			商工業振興資金の継続実施	—	B	新エネルギー等発電・蓄電等への補助の検討を。 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	経営状況を鑑み、制度資金保証料補給や利子補給を継続します。			保証料補給、利子補給の継続実施	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	経営改善普及事業、地域振興事業に対し、木祖村商工会への運営補助を行います。			補助金の交付	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	村内への消費拡大を図るため、商店・店舗等の集約化と消費しやすい環境を研究します。			プレミアム商品券事業の継続実施	—	B	販売方法(村民と村外客)を差別化し引き続き実施を。 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	源気くん型地域産業活性化事業を継続し、地域資源の活用、担い手育成を推進します。			5件の事業者支援実施	5件の事業者支援	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	地場産業の育成を支援するため、村内で営む小規模事業所や個人事業主などの産業について村内外へ発信していきます。			木祖村アンテナショップを通じ発信	—	B		産業振興課

暮らしを支える仕事づくり(創業支援)	村内で新たな事業をはじめる人の相談にのり、事業を進めやすいよう支援します。			数件の相談があり、2件の支援実績	2件の支援	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 具体的な創業支援(相談)はどのように(商工会、役場?)に行われているのか、情報提供を。	産業振興課
	暮らしを支えるサービスなどに取り組むための組織づくりなどを支援していきます。			実績なし	実績なし	C	施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。(具体的な内容を)	産業振興課
	創業支援事業を継続し、創業者に対する支援の強化と充実を図ります。			商工会と連携し、創業相談や創業者に対する補助事業を実施。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
新規、継承就農者の育成、支援	新規就農者の募集案内の作成、ホームページでの紹介	1人	問合せ件数 30人	ホームページで募集案内しているが問い合わせの件数は少ない。	1	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 JAさんとの連携が必要と感じる。	産業振興課
	新規就農者募集セミナーの開催		集客数 10人	R2に新規就農者募集セミナーに参加した。	2人	B	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
	新規就農者、継承就農者の受け入れ		新規就農者 2人	新規就農者、継承就農者各1名が経営を開始した。	2人	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	新規就農者の経営確立支援		新規就農者 1人	新規就農者に対し経済的な支援等を行い、経営基盤確立の支援を行っている。	1人	A		産業振興課

暮らしを支える仕事づくり(農業)	農地中間管理事業による農地の効率的な利用や、日本型直接支払制度による地域の共同活動を支援し、農地の荒廃化防止に努め地域資源の活用			担い手への集積は中間管理事業等によりある程度進んでいる。地域の共同活動も令和2年度策定の5年計画により進行中である。	—	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 どのような状況で進んでいるのか一般住民にはよくわからない。 周辺を見ても荒廃化が進んでいるように思える	産業振興課
	農道、集落道、かんがい排水など農業生産基盤事業と、農産物加工施設をはじめとした活性化施設などの農村生活環境基盤整備事業を総合的に推進			災害復旧等とも併せ必要な施設の改修等を実施している。	—	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	農作業従事者の減少により、地域防災水路を兼ねている用排水路の維持・管理の軽減を図るため、新たな管理方策について検討			災害復旧等とも併せ必要な施設の改修等を実施したが、新たな管理方法については引き続き検討が必要	—	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
	農業施設台帳の整備などを行い、農道及び農業用水などの清掃、環境整備など、地域住民への指導、啓発を進めるとともに、農村の基盤となる農地、水、環境の保全・向上を推進します。また、農業用ため池などの防災減災に努めます。			農道及び農業用水などの環境整備は、災害復旧等で実施している。地域住民への指導、啓発は農家減少に伴い現状厳しい。あやめ公園池に監視システムを設置するなど防災対策を実施した。	—	C	施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。	産業振興課
暮らしを支える仕事づくり(農地整備)	農地中間管理事業による農地の効率的な利用や、日本型直接支払制度による地域の共同活動を支援し、農地の荒廃化防止に努め地域資源の活用を図ります。			担い手への集積は中間管理事業等によりある程度進んでいる。地域の共同活動も令和2年度策定の5年計画により進行中である。	—	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	農道、集落道、かんがい排水など農業生産基盤事業と、農産物加工施設をはじめとした活性化施設などの農村生活環境基盤整備事業を総合的に推進します。			災害復旧等とも併せ必要な施設の改修等を実施している	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	農作業従事者の減少により、地域防災水路を兼ねている用排水路の維持・管理の軽減を図るため、新たな管理方策について検討します。			災害復旧等とも併せ必要な施設の改修等を実施したが、新たな管理方法については引き続き検討が必要	—	C	施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。	産業振興課
	農業施設台帳の整備などを行い、農道及び農業用水などの清掃、環境整備など、地域住民への指導、啓発を進めるとともに、農村の基盤となる農地、水、環境の保全・向上を推進します。また、農業用ため池などの防災減災に努めます。			農道及び農業用水などの環境整備は、災害復旧等で実施している。地域住民への指導、啓発は農家減少に伴い現状厳しい。あやめ公園池に監視システムを設置するなど防災対策を実施した。	—	C	施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。	産業振興課

有害鳥獣対策と人材確保	有害鳥獣対策のための人材の募集	23人	猟友会 会員数維持	有害鳥獣駆除従事者確保のための猟友会員数の維持	23人	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	山林と農地の間の緩衝地帯の設置	200ha	継続	シルバー人材への業務委託による自治会要望箇所の緩衝帯整備 166ha 森林づくり推進支援交付金事業による緩衝帯整備 8ha	174ha	B		産業振興課
	家畜による鳥獣対策(観光、加工品、緩衝地帯の整備)や放牧体制の確立	放牧実施済	放牧の実現	令和元年から3年まで放牧を実施した。	実施済み	A		産業振興課
	野生鳥獣被害軽減に向け、緩衝帯整備をはじめ、地域住民や関係者とともに総合的な対策を図ります。			シルバー人材への業務委託による自治会要望箇所の緩衝帯整備 166ha 森林づくり推進支援交付金事業による緩衝帯整備 8ha	—	B		産業振興課
中小企業退職者共済掛金の補助	補助制度の告知、導入支援		導入事業所数 10社	広報きそへ掲載	0	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 優秀な人材を確保していく観点からでも必要最低限の措置である。	産業振興課
	継続雇用制度(退職後の雇用)		継続事業所数 5社	取組みなし	0	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 優秀な人材を確保していく観点からでも必要最低限の措置である。	産業振興課
観光協会を中心としたガイド登録制度確立	公認ガイド制度の制定		制度制定 R03年	観光協会においてガイド制度を制定済み	実施済み	A	十分な効果が得られていると思うので次のステップに進んだ方が良いと感じる。	産業振興課
	制度に基づいたガイドの育成研修		参加者数 200人	ガイド養成講座	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	産業振興課
	公認ガイドの登録推進		登録数 40人	養成講座等にて実施	—	B		産業振興課
後継者育成のための小企業助成	後継者向けの経営に関する研修の実施		参加者数 20人	取組みなし	0	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 後継者(事業継承)育成セミナー他、具体的な施策が必要	産業振興課
	後継者を育成するための事業主に対する研修会		参加者数 20人	取組みなし	0	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課

暮らしを支える仕事づくり(森林と林業)	森林の果たす役割や必要性を発信し、下流域の住民等による森林ボランティアを推進します。			緑の挑戦者 服部グループによる森林整備ボランティア作業 新型コロナウイルス感染防止のため、ボランティア作業の実施見合わせにより受け入れ件数減少	—	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
	効率的な森林整備を図るため、地域生産組合との連携を密にし、実効性の高い森林経営計画の策定を推進します。			新規森林経営計画なし	—	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 最重要課題であると思われる。	産業振興課
	木祖村公共建築物、公共土木工事などにおける県産材利用方針に基づき、地域材の利活用を促進します。また、薪ストーブ用の薪、木質チップ等の村内での供給体制づくりを目指します。			公共建築物及び公共土木工事については、地域材の利用を促進している。薪の供給体制については民間団体に試行中。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	地域の森林を、持続的に適正管理する新たな方策を検討します。また、適切な管理が行われるよう林業従事者の確保・育成を支援します。			木祖村森林経営管理制度実施方針を策定し、方針に基づき実施中。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	公有林をはじめ、民有林全体の森林整備を視野に、新たな制度の導入について調査研究を行います。			木祖村森林経営管理制度実施方針を策定し、方針に基づき実施中。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
	公有林の適正な管理に努め、村民の財産である森林資源の有効利用を図ります。			村有林搬出間伐測量設計 8.72ha 森林作業道 1,188m	測量設計 8.72ha 森林作業道 1,188m	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
	国有林との施業の集約化、路網の整備、施業の連携等により、森林整備の効率化を図ります。			奥峰(スキー場上部)国有林において、林道開設中。今後、民有林堺まで延伸予定。	—	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
	森林づくり県民税を活用した里山整備などを積極的に推進します。			木祖村里山整備方針により施業が必要な森林 236.94haの整備を推進。	森林 236.94haの整備	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	産業振興課
	企業などによる森林整備を推進するため、森林の里親制度について検討します。			森林環境譲与税による森林整備の推進	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	産業振興課

(2)魅力を発信する特産品の開発、育成			
加工センターを活用した商品開発	都市圏バイヤーによる商品評価の実施		試作評価会 4回参加
	原材料生産の奨励		地域6次産業化 体制の確立
地域営農組織及び生産組織の整備	地域営農組織、生産組織の確立		営農組織 2組織
遊休農地有効利用と農地の集積促進	遊休農地の把握 (アンケート等による把握)		毎年実施
	中核経営体への農地集積		集積率 60%
新品目作物導入支援(ワイン、雑穀)	新品目導入のための支援		新品目導入 3団体
	新品目商品化のための支援		新商品 5品目

国の補助事業を活用し、都市圏コンサルタントにより4品目の試作品を考案。道の駅にて試食会を開催し商品化に向け調整中。	試食会2回開催	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
コーンスープの販売に向け、これまで破棄していたトウモロコシの買取を実施し、商品化に向け試行中。	個人の生産量拡大	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	産業振興課
現在までは営農組織、生産組織の確立はできていない。	0	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
牧草や蕎麦の作付けなどで農地の有効活用がなされてきた。今後の高齢化による条件不利地での遊休農地化防止対策も必要となる。遊休農地が数値上急激に減っているのは、耕作地と見なさない土地を外した結果である。	50ha	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
担い手への集積はある程度進んでいる。 (自己所有地含めればR02で57%)	0.47	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。	産業振興課
国の補助事業を活用し、もち麦の生産を30aほど実施。「雑穀の会」を発足し、雑穀の栽培を推進	1団体	C	施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。	産業振興課
もち麦を材料とした試作品を開発。商品化に向け支援体制を強化。	1品目	C	施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。	産業振興課

(3)魅力再発掘による観光の活性化								
観光デマンドバス(木曽福島、伊那からの直行便)	期間限定による、直行便の運行、利用者募集		運行数 100便	取組みなし	0	D	施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。 冬季のみでも木曽福島駅～やぶはら高原スキー場直行便必要	産業振興課
歩く、自転車で遊ぶを利用した、村全体の観光地化	歩く、自転車利用による観光ルートの開発		周遊観光 2ルート	こだまの森にてコース設定し実施	2	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	産業振興課
	観光ガイドによる歩く、自転車利用のガイド			取組みなし	0	D	この施策の達成見込みは難しいと感じるので大幅な見直しが必要。	産業振興課
	貸し自転車の運営支援		貸出自転車 台数 30台	こだまの森にて実施	-	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	産業振興課
			利用者数 2,500人	こだまの森にて実施	-	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	産業振興課
温泉の配達(利用)支援	宅配用温泉タンクローリーの導入、配送		配達先 10箇所	温泉所有者の意向が確認できておらず、納入に向けた研究が進んでいない。	0	D	施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要である。	産業振興課
	宿泊施設での温泉利用に対する施設改修の助成		制度制定 R3年度	上記導入が進んでいないため制度化していない。	0	D	施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。	産業振興課
	日帰り温泉の開設の研究		研究会立ち 上げ R4年度	研究会の立ち上げ等も全く進んでいない。	0	D	施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。	産業振興課
スポーツコーディネーター制度の確立	スポーツコーディネーターの制度化		制度化 R3年度	未実施	未実施	D	この施策の達成見込みは難しいと感じるので大幅な見直しが必要。	教育委員会
	外国人観光客を増やすインバウンド対策の強化を図るため、看板の見直しや、宿泊施設が充実するような施策を講じる。			元気づくり支援金を活用して数原宿内の名勝サイン整備の多言語化、ホームページ整備、村内文化財等の周遊パンフレットの作成。	-	A	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	産業振興課
	「こだまの森」施設など老朽化施設の改善を図るとともに、有効に活用できるよう研究します。			宿泊棟、トイレの改修工事を実施。急激な老朽化に対応するリニューアル計画が必要	-	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。	産業振興課

暮らしを支える仕事づくり(観光)	(一社)木祖村観光協会と連携し、村独自の観光施設や観光資源を点から線へ、線から面へと結び、体験を含め、長期滞在型の観光となる仕組みを構築します。			木祖村協会、こだまの森、道の駅等の連携により、滞在しながらの体験事業を構築中	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課
	やぶはら高原スキー場が継続し、さらに発展するよう必要な施策を講じていきます。			スキー場あり方検討会及び住民懇談会、住民アンケートを実施し、今後の方針を決定。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
	木曽川の「源流の里」にふさわしい山、川、湖、空等の観光資源を有効に活用し、安全かつ安心して楽しめる環境を整え、村民と観光客が気軽に利用できる仕組みを構築します。			関係機関と連携相談中。サイクリング事業やカヌー、サップなどアクティビティ事業を支援している。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課
	日本遺産登録により注目を浴びるなか、観光客の増加が見込まれます。観光客の一人ひとりに対する思いやりとおもてなしが重要です。地域住民とのふれあいを大切にし、木祖村に関係を持つ人を増やしていきます。			コロナ禍で思うように誘客ができなかったが、お六櫛に興味を持つ人が増えつつあり、職人との関りが増えてきている。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課
	誘客に関するPRは、効果及びコストに見合った方法を選択し、目的を明確にするとともに、的を絞った事業展開を進めます。			コロナ化により屋外アクティビティが注目され、キャンプ、カヌー、サップ、サイクリング、森林浴など、的を絞った事業展開を始めている。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課
	山村ビジネスの担い手となる村内観光事業者が、その機能を十分に発揮できるよう、総合的な連携を深め、全体的なイメージアップを図ります。			体験事業を含め、山村ビジネスにつながり、関係機関の連携を深め、旅行商品の開発に努めている。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課
	誘客力の弱い時期(春・秋・初冬)や平日における誘客のあり方について研究します。			関係機関と連携相談中。	—	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
	観光客安全対策を実施していきます。			観光地の危険木や支障木の伐採、施設の定期的な見回り実施。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。 巨木化による倒木や停電など森林が災いを誘引している実態を調査し、改善すべきである。	産業振興課
	「しらかば平別荘地」施設の適正な維持・管理と、景観に配慮した立木伐採を引き続き行い、周辺の環境整備を進め、安全で快適な別荘地とします。			しらかば平地区住民集会施設の建替え事業の実施。 景観に配慮した支障木伐採も実施した。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課

(4) 地域資源を活用した魅力発信			
新しいイベントを企画し実施する	現在開催しているイベントの評価		評価実施 R2年度
	現状の観光における課題、イベントで解決したい課題抽出		課題抽出 R3年度
	新規イベントの検討、開発		企画立ち上げ R5年度
	木祖村三大イベントについて工夫を凝らし、更なる誘客に努め、地域経済の発展を図ります。		
空き家を活用した観光事業の推進	現状の観光における課題の抽出		課題抽出 R2年度
	課題解決のためのサービス、空き家活用による取組の検討		取組検討 R3年度
	空き家活用による事業の推進		事業立ち上げ R4年度
木材利用建築物の拡大・支援	木材住宅建築助成		継続
	地元産木材利用の啓発活動を進め、利用を促進		継続
暮らしを支える仕事づくり商工業)	在来工法及びエコロジーを推進し、経済対策としての住宅リフォーム、新築増改築の補助施策の充実を図ります。		
「源流の里」としての魅力づくり(魅力発信)	村内の地域資源や技術を有益な範囲で情報発信していきます。		

コロナ禍で評価検証まで至らない	—	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
コロナ禍で評価検証まで至らない	—	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
コロナ禍で新規イベントの検討まで至らない	未実施	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
関係団体と有効性について協議しイベントの方向性を見出した。溪流釣り大会については、R3年度を最終開催とし、テンカラ釣りにシフトする。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課
立ち上げたお・や・すミーティングで検討中	—	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
立ち上げたお・や・すミーティングで検討中	—	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
立ち上げたお・や・すミーティングで検討中	—	C	効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。	産業振興課
補助事業の継続	2	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課
啓発活動の継続	一部の下流自治体で活用	C	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課
従来のリフォーム補助、新築等の補助事業の継続実施	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課
観光PR動画を作成し、情報発信を行っている。技術の発信については今後研究していきたい。	—	B	十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感ずるため。	産業振興課

(5) 地場産業の育成と新しい事業の創造

①コーディネーターの活用	コーディネーターを育成し、 地場産業の育成と新しい事業の創造を支援		活動時期 R4年度
②工業団地等の誘致	場誘致に関する研究		研究会立ち 上げ R4年度
	雇用拡大を図るためIT関連 産業等の企業誘致を研究し ます。		

未実施	未実施	D	の施策の達成見込みは難しいと感じるので大 幅な見直しが必要。	産業振興課
未実施	未実施	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内 容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実 施してほしい。	産業振興課
未実施	未実施	D	効果は十分ではない部分があるが、施策の内 容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実 施してほしい。	産業振興課